

キリングroupは、「食から医にわたる領域」で価値を創造し、世界のCSV^{※3}先進企業になることを目指しています。CSVの「環境」取り組みの一環として、本年2月に社会と企業のレジリエンス強化へ向けた新たなビジョン「キリングroup環境ビジョン2050」を策定し、「容器包装を持続可能に循環している社会」を目指すことを宣言しています。また「キリングroup プラスチックポリシー」では、2027年までに日本国内におけるPET樹脂使用量の50%をリサイクル樹脂にすること掲げています。これらの達成に向け、今後、リサイクル材やバイオマスなどを使用した持続可能な容器包装の展開も検討していきます。

今後もキリングgroupは、豊かな地球の恵みを将来にわたって享受し引き継ぎたいという思いを、バリューチェーンに関わる全ての人々と共につないでいくために、さまざまな社会課題に対する取り組みを積極的に進めていきます。

※1 ケミカルサイクル

廃ペットボトルを選別、粉碎、洗浄して汚れや異物を取り除いた上で、解重合（化学分解処理）を行い、ペットの中間原料まで分解、精製したものを再びペットに重合（合成）する方法。

※2 メカニカルサイクル

廃ペットボトルを選別、粉碎、洗浄して汚れや異物を取り除いた上で、熱や真空により揮発成分の除去や物性調整を行ったペットに調製する方法。

※3 Creating Shared Value の略。お客様や社会と共有できる価値の創造